

【ツール⑥】受益者に対する確認票

1. 本ツールの目的

NPO 法人が受益者に資金や物資・サービスの提供を行う際に、正当な受益者になりすましたテロリスト等やその支援者など、本来支援を必要としていない者に流用されるリスクを低減するための確認事項やチェック項目を示したツールです。自法人の活動内容等を踏まえ、必要に応じて活用ください。

2. 位置づけ

「特定非営利活動法人のテロ資金供与対策のためのガイダンス」の「5-5 相当量の資金源へのアクセスと海外への送金・現金の持ち出し」の「資金や物資・サービスの提供段階での確認_受益者の確認」を補足するものです。

3. 確認・チェック項目

受益者に資金や物資・サービスの提供を行う際に、リスクに応じて下記の確認事項を基に確認を行うことを推奨します。確認の結果、下記のチェック項目に該当する場合、必要に応じて追加の確認や調査を実施するとともに、懸念が解消されない場合は、受益者への支援金やサービス提供の中止を検討してください。

（確認事項）

- 身分証等により受益者の身元の確認を行う。
- 受益者の交友関係など人的つながりを確認する。
- 受益者がいる地域の住民や行政機関等に対して、受益者の生活環境や生活状況について聞き取りを行い、事前に設けた支援対象者の選定基準を満たしているかを確認する。

（チェック項目）

- ☐ 身分証が偽造されている、又は偽造の可能性が高い。
- ☐ 財務省「経済制裁措置及び対象者リスト」や警察庁「公告国際テロリスト」、その他諸外国の政府機関等が公表する一定のリストに該当する。又は、該当する個人・団体と関わりがある。
- ☐ 受益者が支援金等を必要としていない可能性がある。
- ☐ 受益者が支援を必要としていない個人・団体に支援金等を流用している可能性がある。

パートナーを通じて、受益者に資金や物資・サービスを提供している場合

パートナーを通じて受益者の選定、資金や物資・サービスの提供を行う場合は、パートナーとの定期的なコミュニケーションや委託事業に係る監査の実施等を通じて下記の確認を行うことを推奨します。確認の結果、下記のチェック項目に該当する場合、必要に応じて追加の確認や調査を実施するとともに、懸念が解消されない場合は、パートナーを通じた受益者への支援金やサービス提供の中止を検討してください。

(確認事項)

- パートナーが支援金等を提供した受益者の一覧を確認する。
- パートナーが、どのような方法で受益者を選定しているかを確認する。
- パートナーとともに現地を訪問の上、受益者の生活環境や生活状況を確認する。

(チェック項目)

- ☐ 受益者の一覧について、記載されている受益者の中に、身元が特定できない者、又は身分が偽造されている者が記載されている。
- ☐ 受益者の一覧が、偽造された疑いがある。
- ☐ パートナーが、受益者が受給基準を満たすか確認していない、又は確認方法が把握できない。
- ☐ 現地訪問の結果、受益者の存在や生活を確認することができない。又は、受益者において支援金等が必要な状況ではない。